研究分科会Ⅰ　小学校新聞づくり

研究主題	「いっしょに学ぼう」 子どもが学びをつくる。 子どもとともに学びをつくる	提案者	北海道 幕別町立札内北小学校 相　馬　　高

１．はじめに

札内北小学校に来て、今年で２年目になる。本校では、２０００年度より児童会活動の見直しを軸に学校を真に子どもたちが主人公の学校へと転換していこうと研究・実践をすすめ、２００２年度からは、子どもが主体的に活動していくためのシステム作り、主体的な学びを取り入れた授業作り等の研究を進めてきた。

そして、昨年度からは、子どもが主体的に関わる授業作りが進められ、わたしも社会科部会に所属し、校内研修を進めてきた。今回は、その中での新聞づくりを紹介する。

２．取り組みの概要

本校での昨年度の研修は､教科研究ではなく、それぞれの教科の中で主体的な活動をどのようにつくりあげることができるのかということをテーマに研究を進めた。

昨年度担任した４年生は新聞づくりの経験があまりなく、その子どもたちに新聞づくりの良さである、

（１） 新聞を作る楽しさ
（２） みんなに読んでもらえる喜び
（３） 新聞づくりを通して深まる友だち関係
（４） 文章力、読解力の高まり
（５） 情報の収集力、分析力　などなど

を自然に学ぶことができればと考えていた。

わたしは、社会科部会の中で、主体的な活動をつくりあげるために、この新聞づくりをどのようにいかそうかと授業づくりを考えていた。

１学期、社会科の警察署、消防署の見学なども終え、新聞づくりのことを考えていると、もってこいの新聞コンクールの要項が届いた。

子どもたちに紹介し、これを最初の取り組みとした。子どもたちには好評で、子どもたちは新聞づくりの楽しさを実感した。その後も、回を重ねていくうちに見学や学習のまとめ段階に入ると新聞にまとめてみようかな、新聞にまとめてみたいなと思うまでに成長してくれたのである。

３．研究の成果と課題

成果としては、新聞をみんなが喜んで、楽しみながらつくれるようになったことであり、それと同時に新聞をつくりあげるまでに必要なさまざまな力をそれぞれに身につけることができたことだと思う。

課題は､これからさらに回を重ねていく中で、身につけられることでもあると思うが、読み手をより意識した新聞づくりに高めていくことであろう。